

お知らせ

日本化学会第106春季年会(2026)参加登録について

第106春季年会実行委員会

主 催	公益社団法人 日本化学会
共 催	日本大学理工学部
会 期	2026年3月17日(火)～20日(金)
会 場	日本大学理工学部 船橋キャンパス(千葉県船橋市習志野台7-24-1)
実行委員長	大月 穂(日本大学理工学部・教授)
内 容	アカデミックプログラム ・受賞講演、若い世代の特別講演、口頭A講演、口頭B講演、ポスター シンポジウム ・イノベーション共創プログラム、中長期テーマシンポジウム、アジア国際シンポジウム、特別企画 併催シンポジウム・行事 ・会長講演、表彰式、コラボレーション企画、本会委員会主催シンポジウム(市民公開講座等)
重要な日程	参加登録期間 2025年11月4日～会期最終日 ※詳細は下記参加登録参照 プログラム公開日 2026年1月22日(予定) 講演予稿集発行日 2026年3月3日(予定)
問合せ先	日本化学会 企画部 年会係 URL: https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/csj106th
■講演予稿集の発行形式 はWebのみです。会期が終了してから3ヵ月経過した後、年会参加者以外による予稿集の閲覧が可能となります。	

参加登録

[注意事項]

- ・講演申込者・講演者(登壇者)・連名者(共著者)のいかんにかかわらず本年会に参加される方は、全員参加登録が必要です。※一部招待者を除きます。

1 登録期間

- (早期申込) 2025年11月4日～2026年2月27日
 (直前申込) 2026年3月10日～会期最終日

2 登録方法

春季年会ウェブサイト上の参加登録フォームよりお申し込みの上、期日内に参加登録費をお支払い下さい。

3 参加登録費

参加登録費は以下の表のとおりです。

参加区分	参加登録費		課税区分
	早期申込	直前申込	
会員	一般*1	18,000円	21,000円
	シニア/教育*2	10,000円	12,000円
	学生*3	5,000円	6,000円
	中高生(聴講のみ)	無料	無料。会場にて受付
非会員	非会員	30,000円	35,000円
	学生	7,000円	8,000円

*1 個人正会員および法人正会員に登録している機関に所属の方。

*2 シニア会員、永年会員、終身会員、教育会員の方。

*3 学生会員、教育学生会員、ジュニア会員、中高生会員(登壇者)の方。

4 支払方法

支払方法は下表のとおりです。

参加申込時期	支払方法
早期申込	銀行振込、クレジットカード
直前申込	クレジットカードのみ

※郵便振替でのご送金は承っておりません。

5 求査書・領収書

- 求査書は、参加登録および決済手続き開始後に、参加登録フォーム(Confit)にて発行します。発行形式はPDFのみです。
- 領収書は、支払い確認完了後、参加登録フォーム(Confit)にて発行します。発行形式はPDFのみです。
- 書式の変更等には対応いたしかねます。公費払い・校費払いの場合も同様に書式変更には対応できません。

6 参加証

参加証の事前送付はいたしません。参加者は自身にて参加登録フォームより参加証をダウンロード・印刷の上、会場にお持ち下さい。参加証のダウンロードは、講演予稿集発行日の3月3日から可能になります。なお、参加証ホルダーは会場にて配布します。

懇親会

1 日時

2026年3月18日(水) 17:40 開宴(17:20開場)

2 会場

日本大学 理工学部船橋キャンパス 食堂2F
 「ファラディホール」

3 懇親会費

(早期申込: 2026年2月27日締切)

一般 5,000円、学生 2,000円

(直前申込: 2026年3月10日～)

一般 6,000円、学生 2,000円

4 申込方法

春季年会ウェブサイトよりお申込み下さい。

URL: <https://pub.confit.atlas.jp/ja/event/csj106th>

各種企画一覧

本年会での行事、企画は下表の通りです。プログラム等の詳細情報は春季年会ウェブサイトにてご確認下さい。

分類	企画名	3月17日(火)			3月18日(水)			3月19日(木)			3月20日(金)		
		午前	午後	夕方	午前	午後	夕方	午前	午後	夕方	午前	午後	
	会長講演・表彰式					●							
	ノーベル化学賞受賞記念講演								16:00-				
	市民公開講座 広がる化学、ひらく未来												●
	実験教室 一おもしろ化学実験—										●	●	
	元素川柳					正午締切					結果発表		
	付設展示会	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
	第106 春季年会 懇親会							17:40-					
	ケムスティブニングミキサー				17:40-								

▼以下は『シンポジウム企画』です。春季年会の参加登録が必要です。

イノベーション共創プログラム(C-I-P)	研究 DX・ラボオートメーションが拓く研究開発の新時代—その実践と課題—	●	●										
	水の科学と技術が拓く持続可能な未来								●	●	●		
	次世代太陽電池の基盤技術と実用化							●	●	●			
	バイオマス活用で実現するカーボンニュートラル	●	●										
	超高容量二次電池向け負極、古くて新しい金属負極の研究開発										●	●	
	再生可能エネルギーを支える長期エネルギー貯蔵技術(LDES)										●	●	
	バイオ医薬品の最前線を支えるスマートケミストリー				●	●	●						
	デジタルヘルスケアの最前線						●						
	世界を変えるバイオベンチャーの新たな戦略							●		●	●		
	フレキシブル分子性結晶材料ソフトクリスタルが切り拓く革新的技術開発					●	●						
中長期テーマシンポジウム	新しい機能性材料を創出するバイオミメティクス研究の最前線	●	●										
	GaNマイクロ波加熱が拓くものづくりの未来				●	●	●						
	有機電解合成の今：最新技術動向と化学品製造への応用の可能性										●		
	シーケンシャル物質化学：秩序と無秩序の時空間制御						●						
	有機太陽電池を基軸とする有機エレクトロニクスの新展開					●							
	医・薬学と化学から紐解く進化と生物多様性	●											
アジア国際シンポジウム	分子設計・構築による機能性2次元マテリアルの創製									●			
	カーボンニュートラル実現の鍵：エネルギーキャリア最前線									●			
	水の科学を基盤とする機能材料の設計と構築				●								
	Asian International Symposium on Molecular Science — Physical Chemistry / Theoretical Chemistry, Chemo-informatics, Computational Chemistry — Cosponsored by Japan Society for Molecular Science —			●	●								
	Asian International Symposium — Photochemistry —					●							
	Asian International Symposium — Inorganic Chemistry / Coordination Chemistry, Organo-metallic Chemistry —						●	●					
	Asian International Symposium — Analytical Chemistry —	●											
	Asian International Symposium — Electrochemistry —										●		
	Asian International Symposium — Catalysts and Catalysis —								●				
	Asian International Symposium — Polymer —									●			

分類	企画名	3月17日(火)			3月18日(水)			3月19日(木)			3月20日(金)	
		午前	午後	夕方	午前	午後	夕方	午前	午後	夕方	午前	午後
シンポジウム 国際	Asian International Symposium — Nanotechnology / Materials Chemistry, Resources and Energy, Geochemistry, Nuclear Chemistry, Radiochemistry —							●	●			
	Asian International Symposium — Organic Chemistry / Green Sustainable Chemistry —				●	●						
特別企画	ルミネッセンス化学アンサンブル：多様な発光種が協奏する多色ルミネッセンス材料						●					
	XAFSと化学：錯体、触媒からリュウグウまで 一放射光ことはじめ				●							
	低次元材料と光機能材料のテーラーメイド	●										
	遅延制御によるペプチドの高次構造構築と生命機能操作		●									
	創造の飛跡：未来を拓く「合成と制御」										●	
	化学と量子科学と生命科学の接点が織りなす最先端研究										●	
▼ 以下は「併催シンポジウム」です。年会の参加登録は不要でどなたでもご参加いただけます。												
コラボレーション企画	(JST) さきがけ「調和物質変換」研究成果報告会	●	●									
	(JST) CREST「材料創製と循環」/さきがけ「材料の創製・循環」合同シンポジウム						●					
	(JST) CREST「革新的反応」研究成果報告会	●										
	化学構造リプログラミングが拓く合成科学の最前線			●								
	(JST) GteX（革新的 GX 技術創出事業）「実用電池の革新と次世代蓄電池技術の創出」シンポジウム				●							
	メゾヒエラルキーの物質科学：メゾ領域で機能する材料創製を目指して							●				
	ACS150 JACS Symposium Series: Advancing Molecular Transformations for Chemical Innovation				●	●	●					
本会委員会主催シンポジウム	π分子複雑性：π分子の構造、状態、機能を繋ぐ新しい階層的アプローチ		●									
	天然物および生物有機化学に関するナカニシシンポジウム 2026		●									
	ケミカルレコード・レクチャー 2026							●				
	理系女子の未来を拓く：多様性推進とキャリア支援									●		
	オープンシンポジウム「次世代分子システムが拓く未来の化学」		●									
	論説フォーラム：SPRING Matters, Equity Matters, Globalization Matters						●					
	第32回化学教育フォーラム：AIは化学探究活動を変えられるか？									●		
環境・安全シンポジウム 研究開発現場における安全とリスクマネジメント												

**日本化学会秋季事業
第 15 回 CSJ 化学フェスタ 2025
『学生ポスター発表』,『博士課程学生オーラルセッション』の表彰**

化学フェスタ実行委員会

委員長 加藤隆史 (信州大学/岡山大学/東京大学名誉)

山田泰司 (花王)

学生ポスター発表担当

大内 誠 (京都大学), 一川尚広 (東京農工大学), 岩崎孝紀 (九州大学),
桑田繁樹 (立命館大学), 鳥居 肇 (静岡大学), 中村修一 (名古屋工業大学),
橋詰峰雄 (東京理科大学), 三好大輔 (甲南大学), 山口和也 (東京大学)

博士課程学生オーラルセッション担当

石田玉青 (大阪公立大学), 田中敬二 (九州大学), 鳥居 肇 (静岡大学),
廣原志保 (沖縄工業高等専門学校), 藤田恭子 (東京薬科大学),
矢島知子 (お茶の水女子大学)

2025 年 10 月 22 日(水)~24 日(金)に「第 15 回 CSJ 化学フェスタ 2025」を東京都江戸川区タワーホール船堀にて開催いたしました。「CSJ 化学フェスタ」では 1) 最先端の化学と化学技術に関する産学官の交流深耕による化学, 化学技術および産業の発展への寄与とイノベーション強化, 2) 化学の成果と未来に向けた化学の貢献の社会への発信という 2 つの趣旨のもと, 素材・環境・エネルギー・資源から情報, ヘルスケア, 創薬の化学, 新学術領域が目指す未来の化学まで社会の課題となっている研究開発・技術の話題を取り上げた『テーマ企画』, 企業や研究機関の研究開発戦略と現状を紹介する『産学官 R&D 紹介企画』, 他機関との連携による『コラボレーション企画』など多彩な内容で行われ, 約 2,700 名が参加しました。

企画の 1 つである『学生ポスター発表』では 7 分野, 合計 1,031 件の発表が行われました。今回もポスター会場では活気に溢れ, 会場のいたるところで活発な討論がなされました。この中から審査を希望するポスター発表に対し, 1) 研究に対して発表者が十分に寄与していること, 2) 質疑応答に優れていること, 3) 独自性が認められ, 今後の発展が期待できること, の 3 つの観点から審査をしました。その結果, 10 件の「最優秀ポスター発表賞 (CSJ 化学フェスタ賞)」および 188 件の「優秀ポスター発表賞」を選出しました。

また, 『博士課程学生オーラルセッション』では, 合計 30 件の発表があり, 会場では活発なディスカッションが行われました。1) 研究内容に関する本人のオリジナリティー, 2) 発表の構成と分かりやすさ, 3) 今後の展開への期待度, 4) 質疑応答の的確さ, の 4 つの観点から審査をした結果, 6 件の「CSJ 化学フェスタ博士オーラル賞」を選出しました。

以下に示しました受賞者の皆様にはその栄誉を称え, さらに一層の研鑽を積まれますことを期待して会長名の表彰状を, また「最優秀ポスター発表賞 (CSJ 化学フェスタ賞)」および「CSJ 化学フェスタ博士オーラル賞」の受賞者には加えて副賞をお届けしました。

「最優秀ポスター発表賞 (CSJ 化学フェスタ賞)」 (10 名)

[物理化学]

P1-012 塩谷海斗 (筑波大院数理物質)

超高速時間分解電子線回折法を用いた有機発光材料の構造変化の観測

[無機化学・触媒化学・分析化学]

P1-018 酒井春海 (東大院工)

担持 Au ナノ粒子触媒による第 3 級/第 1 級アミンの脱水素型クロスカップリングを経るアミジン合成

P5-027 運 愛斗 (東大院工)

層状水酸化物を前駆体とした MOF 薄膜合成と QCM によるセンシングへの応用

[有機化学]

P5-049 橋本義久 (科学大化生研)

軸不斉芳香環ミセル : フタロシアニン錯体類の内包キラリティー誘起

P7-048 横山拓海 (明大院理工)

ホモキラルに化学修飾されたグラファイト表面によるキラリティー誘起

[錯体・有機金属化学]

P3-073 荘司吏温 (東北大院理)

可視光捕集色素とアゾベンゼン分子との複合化による高感度光スイッチング

[天然物化学・生体機能関連化学・バイオテクノロジー]

P5-085 三枝直樹 (阪大院農)

位置遷移する銅中心を持つ人工金属リアーゼの創製

[高分子化学]

P4-087 河野博之 (京大院工)

マレイン酸誘導体/ビニルエーテル交互共重合体によるナノ相分離材料

[材料化学]

P5-100 松尾琴梨（静大院工）

層状ケイ酸塩 Nu-6(1)の二次元空間を鋳型とした窒素
ドープグラフエンの合成

[物理化学]

P1-001 竹内愛斗（神戸大院理）

固液界面の動的平衡状態が誘起する有機無機ペロブスカ
イトの自己修復反応

P1-008 岩本武大（東大院工）

走査トンネル顕微鏡を用いた金属表面での脱酸素反応の
メカニズム研究

P3-002 山本大智（名工大院工）

キューティクル表面に着目した異方性水輸送現象の模倣
と最適化

P3-004 内木乃亜（科学大化生研）

走査型透過電子顕微鏡を用いたサブナノ領域の元素相溶
性解析

P3-008 宮里俊次（東大生研）

サリチリデンアルキルアミンの構造相転移と光・熱応答
特性における偶奇効果

P3-012 島田大地（東理大院工）

紫外線照射を用いたポリスチレン自走粒子の挙動制御

P5-007 板倉栄由（横国大理工）

競争反応の実験データを活用したケトンの還元選択性の
予測

P5-016 德田隼己（科学大化生研）

電子顕微鏡加熱観察によるサブナノ粒子の熱力学特性解析

P5-022 町田健輔（北里大院未来工）

分子シミュレーションによる有機半導体結晶の電荷伝導
性評価

P5-024 神山真帆（東北大院理）

銅ナノクラスターの構造が電気化学的 CO₂ 還元活性に
与える効果

P8-014 高橋遼太郎（早大院先進理工）

CsPbBr₃-銀薄膜ハイブリッド体における光学特性の解明

P8-017 松本悠汰（東理大院工）

アニオン／両性界面活性剤混合系における泡沬特性およ
び泡沬の構造解析

P8-020 宮崎蒼生（東理大院理）

PC リン脂質と PE リン脂質に対するチオ尿素添加効果

[無機化学・触媒化学・分析化学]

P1-020 山田白鳥（熊大院自然）

有機溶媒添加による CsCuCl₃ の自然分晶の誘起

P2-002 廣瀬翔大（東大院工）

協働触媒作用を指向した金属ナノ粒子-金属錯体複合触
媒の構築

P9-109 相馬悠利（鳥取大院持続性科学）

組成の異なる Bi-Sb 固溶体と Sn₄P₃ のコンポジットから
なる電極の Li イオン電池負極特性

「優秀ポスター発表賞」（188名）

P2-003 山本航平（東農工大院工）

スーパーレドックスキャパシタの高温・高電圧動作に向
けた Li₃V₂(PO₄)₃ 正極材料の開発

P2-012 吉田遼太郎（阪大基礎工）

非銅系金属触媒を用いた CO₂ 電解における長鎖炭素化
合物生成のメカニズム解明

P2-014 榎本和眞（都立大院都市環境）

高純度かつ高濃度な過酸化水素水溶液の電解合成

P3-018 野本晃汰（都立大院都市環境）

膜電極接合体による重碳酸イオン供給型 CO₂ 変換

P3-022 谷口颯太郎（東理大理工）

錯体重合法およびフラックス処理により調製した Cr
ドープ SrTiO₃ 光触媒を用いた単一粒子型可視光水分解

P3-028 藪 貴（北大院総化）

ナノ構造と異種元素置換のハイブリッドアプローチによ
る高性能マグネシウム電池正極開発

P3-032 山本敏史（東大院工）

ポリオレフィンの加水素分解を指向した担持二元金属触
媒の開発

P4-004 川崎一氣（関西大院理工）

Ti₂Ni 触媒によるアルコールを用いたアルキル化反応

P4-011 筒井瑠子（早大院先進理工）

ヘテロ元素(Ge)を含むカゴ型シリコサン系ビルディングブロックの作製

P4-014 千葉みのり（東大院工）

水素を用いたポリ塩化ビニルの触媒的水素化脱塩素

P4-016 佐藤 風（北大院総化）

層状 VOPO₄ のマグネシウム二次電池における電極特性
評価

P5-025 佐々木義弘（東大院工）

CeO₂ 担持 Ni ナノ粒子触媒を用いた常圧でのニトリルの
第一級アミンへの選択的水素化反応

P5-028 本道和樹（早大院先進理工）

ナノ多孔質酸化コバルトを鋳型としたメソポーラスベー
タゼオライトの合成と Si/Al 比の制御

P5-032 廣瀬巧実（九大院工）

固定化細胞膜を用いたギ酸の可逆的な変換系の開発

P5-034 高信昌彦（科学大化生研）

Pd サブナノ粒子による電気化学的な CO₂ 還元における
選択的 CO 生成

P5-037 西村春香（関西大院理工）

酸化グラフエン担持 Pd ナノ粒子触媒を用いたアリール
ボロン酸とアルケンとの酸化的ヘック反応

P5-040 水野僚也（東大院工）

SnO₂ ナノ薄膜の室温スパッタリング条件が成膜後高温
熱処理を超えて水素ガス検知特性に与える影響

- P5-041 谷村勇亮（横国大院理工）
シリコン粉末と CO₂ の反応で得られる多孔質シリカの構造解析と触媒担体としての活用
- P6-011 米澤明純（横国大院理工）
AEM 型リアクターを用いた安価なコバルト触媒と水による含窒素芳香族化合物の電解水素化
- P6-013 西田凌馬（東北大院環境）
放射光 X 線による GMS 添加デンプンゲルの構造ダイナミクスと水分子相互作用の検討
- P7-001 山本昌尚（科学大フロンティア材料研）
鉄系ペロブスカイト酸化物の組成制御によるアルカン酸化触媒の高機能化
- P7-002 磐貝大翔（東大院工）
金属ポルフィリンとポリオキソメタレートからなる分子状複合体の合成と特性
- P7-005 中谷利毅（東北大院理）
Cu ナノクラスター構造体の新規創成：構造次元変化による電気化学触媒性能の影響
- P7-012 野村尚吾（沼津高専）
イットリア-セリア系コアシェル酸化物担持ルテニウム触媒のアンモニア合成活性
- P7-014 藤枝海琉（科学大化生研）
一酸化窒素還元反応における Ni サブナノ粒子の触媒活性と核数依存性
- P8-027 古川公一朗（湘南工大院工）
プローブ型溶存酸素計の測定範囲を拡張する器具の開発とその応用
- P8-031 平野月斗（神奈川大院工）
元素置換 Ba-Fe 酸化物における新規結晶相の探索
- P8-040 相 哲人（東大院工）
Pt/WO₃-ZrO₂ 触媒による水/デカン混合溶媒中での含酸素芳香族化合物の加水素分解反応
- P9-002 堀口太裕（早大院先進理工）
加圧下での電場印加メタンのドライリフォーミング反応
- P9-004 川合英由（科学大フロンティア材料研）
グリセロールのエステル交換反応に有効なアルカリ金属ドープ SrTiO₃ ナノ粒子の開発
- P9-006 原田 翔（科学大理）
TiO₂ の構造特性が色素増感型光触媒の活性と電子移動ダイナミクスに与える影響
- P9-013 関根季織（東大院工）
堅牢な金属酸化物ナノワイヤアレイ QCM を利用したモノテルペンの香氣識別

[有機化学]

- P1-037 柳原拓海（京大院工）
種々の三次元ホウ素クラスター骨格による π 共役系分子の発光多機能化
- P1-040 小林加奈（お茶大院人間文化）
シレピニルジアニオンの超共役的反芳香族性におけるカウンターカチオン効果
- P1-041 佐藤真哉（横国大院理工）
酸蒸気曝露後に誘起される発光性有機結晶の解離的変形

- P1-045 西口直輝（京工織大院工芸）
さまざまな状態で高効率発光するイオン性有機蛍光体の開発
- P1-046 市村 彪（科学大物質理工）
段階的な歪み構築による多層積層型ヘリカルナノグラフェンの合成
- P1-049 丸山優斗（立命館大院生命科学）
両親媒性電荷積層型集合化によるリオトロピック液晶の創製
- P1-053 吉田稜真（都立大院都市環境）
ジフルオロフェニレン架橋 C13 鎮かご型化合物の合成と物性
- P1-058 千葉結生（千葉工大院工）
ハロゲン結合／水素結合供与型ハイブリッド触媒による二酸化炭素固定化
- P2-021 板橋裕毅（千葉大院融合理工）
C=C/C=N メタセシスによる超分子ポリマーのトポロジー選択的な変換
- P2-032 吉川優翔（千葉工大院工）
Au 触媒 vs Ag 触媒：環状 α-ヒドロキシミニウムイオンの触媒制御型ケモダイバージェント反応
- P2-035 西里栄毅（阪公大院工）
弱い電子的カップリングが誘起する“遅い”分子内一重項分裂
- P2-036 塩野裕人（京大院人環）
p-Phenylenediamine 誘導体の分子内縮環による反芳香族性 tetraazapentacene 類縁体の合成
- P2-042 桐野凌汰（科学大物質理工）
無給電バイポーラ電解セルの形状最適化および電解酸化的ラクトン合成への応用
- P3-036 河合勇弥（科学大物質理工）
[2+2+2] 付加環化反応によるキラル積層型シクロファンの不斉合成
- P3-045 矢毛石徹（千葉大院融合理工）
ジフェニルアゾベンゼン二量体の自己集合における環状集合体の形成
- P3-052 鈴木虎大朗（京大院工）
二酸化炭素を用いたフェノール誘導体のダブルカルボキシル化反応の開発
- P3-054 小西謙成（科学大物質理工）
環構造の違いを利用した橋かけ 1,3-diene 誘導体の発光特性の制御
- P3-055 吉井翔太郎（千葉大院融合理工）
アントラセンまたはナフトチアジアゾールを含む二量体からなる共集合ナノチューブの構築
- P3-057 川合陽太（立命館大院生命科学）
動的構造変化を示すアニオン応答性環状 π 電子系の合成
- P3-062 上永誠人（阪公大院工）
機械學習支援によるジエノナフトチアジアゾール半導体の分子設計と光フロー合成
- P4-024 工藤稜央（千葉大院融合理工）
添加剤によるハサミ型クロロフィル二量体の超分子ナノファイバー/リング形成経路の制御

- P4-026 小林はる (科学大生命理工)
鉄触媒による γ,δ -エポキシ- α,β -不飽和カルボニル化合物の還元的ホモカップリング反応-立体選択的シクロプロパン合成
- P4-031 宮地龍一 (阪公大院工)
二点架橋型アントラセン連結体による光アップコンバージョン過程のスピニ選択性制御
- P4-035 田郷岡大輝 (千葉大院融合理工)
溶液濃縮が実現する自己集合性ポリカテナン形成
- P5-045 曰高 凜 (横国大院理工)
 π 拡張構造による窒素中心ラジカルの安定化を活用した電気化学的 HAT 触媒の開発
- P5-048 前地友翔 (阪大院工)
電気化学的還元によって生成した水素原子移動活性種の開発と C(sp³) -H 結合の CO₂ カルボキシル化への展開
- P5-060 小林大斗 (立命館大院生命科学)
イオンペアリングによって磁気的特性が変調可能な荷電 π 電子系ジラジカル
- P5-068 三橋花楓 (青学大院理工)
水系環境におけるビナフチル架橋イミダゾール二量体の逆フォトクロミズム
- P6-030 本間晴香 (芝浦工大院理工)
フッ化カリウムから誘導される新規求核的フッ素化剤の開発
- P7-030 鈴木滉也 (千葉大院融合理工)
ホルミウム錯体のアルコキシ側鎖が自己組織化構造へ及ぼす影響
- P7-035 宇野颯人 (立命館大院生命科学)
ヘテロポルフィリン金属錯体の周辺修飾によるイオンペア集合化
- P7-037 河合竜一 (千葉大院融合理工)
亜鉛ポルフィリン二量体の自己集合と促進剤による湾曲誘起効果
- P7-045 里道直紀 (科学大物質理工)
n型有機半導体分子骨格ベンゾ[c]セレノフェンジイミド (BSDI) の合成と基礎物性
- P7-051 香川知葉 (阪大院工)
CO₂をC1源とする α -アミノアルキルラジカル駆動ハロゲン原子移動を介した C(sp³) -ハロゲン結合の光化学的カルボキシル化反応
- P7-052 田島 樹 (千葉大院融合理工)
自己集合ヘリコイドの超音波誘起断片化によるトロイド形成
- P7-053 西岡 晃 (弘前大院理工)
プロトン付加を基盤とするアズレン縮環芳香族化合物の二重発光挙動
- P8-041 山口愛織 (お茶大院人間文化)
可視光触媒による脱フッ素化反応を伴う含フッ素アミド化合物の合成
- P8-044 山本花生 (横国大院理工)
両極フロー電解を用いたリグニンモデル分解における Borrowing Hydrogen 法の適用
- P8-052 岸上真珠 (関西学院大院理工)
光触媒を用いた α -ホスホニオラジカルによるオレフィン伸長反応
- P8-060 杉本晴久 (千葉大院融合理工)
カラムナー液晶性ウレアを用いた強誘電性フィルムの作製
- P9-032 高橋悠粹 (早大院先進理工)
ホスファブルック転位を経由したカルボニル化合物の脱酸素型ラジカル反応
- P9-043 村井克行 (千葉大院融合理工)
ジアリールエテンの光異性化を利用した超分子ポリマーの形態制御
- P9-044 平間暁月 (横国大院理工)
ハロアントラセンの電気化学的ハロゲン結合性相互作用を利用した触媒的 C-N 結合形成反応の開拓
- P9-050 金子隼輔 (明大院理工)
単一成分による单層キラル COF の合成と隣接するメチル基の影響
- [錯体・有機金属化学]**
- P2-046 Yange Chen (立教大院理)
アントリル基を有するレニウム錯体が触媒する光化学的二酸化炭素還元反応
- P2-047 李 耕 (東大院工)
酸化還元活性配位子を有するルテニウム錯体触媒による電気化学的アンモニア酸化反応
- P2-055 近藤 歩 (東北大院理)
銅ナノクラスター連結体の新規創製と電気化学アンモニア合成触媒への応用
- P2-056 倭 秀介 (科学大化生研)
M₃L₃ 芳香環チューブの集合後修飾：分子捕捉能とキラル導入
- P3-066 川俣壮慶 (東大院工)
可視光誘起反応を志向したアニオン性シクロメタル化イリジウム錯体の合成と光物性
- P3-072 森田竜生 (阪公大院理)
発光性希土類錯体集合体を利用した水溶性基質センシング
- P4-046 安田亘輝 (科学大理)
Rh 二核錯体を触媒活性点として有するケージ化合物の合成と性質
- P4-047 松浦匡伸 (東大院工)
高分子テンプレートを用いた固溶体 MOF の制御合成
- P4-049 吉田悠人 (科学大物質理工)
白金錯体を導入したロタキサン型超分子メカノフォア
- P4-058 樽見勇我 (京大院工)
9-ヒドロキシフェナレノンホウ素錯体を基盤とした π 共役系材料の光電子物性評価
- P6-048 増子玲音 (北里大院理)
アミド配位子を有する PNN ピンサー鉄錯体の合成とホウ素化反応への利用
- P6-050 上田瑛太郎 (阪大院工)
モリブデンビス (イミド) 錯体の可視光照射による 1,4-シクロヘキサジエン誘導体の脱水素化反応

P6-053 鶴見佑樹（群大院理工）

協働配位による金属ナノクラスターのオリゴマー自己集合
P6-055 浅野愛來（東大院工）

シクロデキストリンを鋳型分子として用いた大環状多核
金錯体の合成研究

P8-061 嶋田千珠子（京工織大院工芸）

2-アルキルシクロヘキサノールのイリジウム触媒多重
脱水素化/環化反応によるベンゾフラン誘導体の直接合成
P8-064 形山暢紀（関西大院理工）

パラジウム触媒による1,3-ジエンとアミノアルコール
のC-N/C-O結合形成を伴うモルホリン誘導体の合成

【天然物化学・生体機能関連化学・バイオテクノロジー】

P1-061 馬鳥沙希（中大院理工）

ウイルス模倣ナノ粒子を検出できる高分子チューブマイ
クロモーターの合成

P1-065 岩田りえる（中大院理工）

DNAトポイソメラーゼI阻害剤の光感応型アルブミンコ
ンジュゲートの合成と機能解析

P1-068 仁井山瑞歩（慶大院理工）

Okeania属海洋シアノバクテリア由来新規リポペプチド
の単離・構造決定・生物活性

P2-066 大月秀太（名大院理）

軸配位子とヘムポケットを導入した人工核酸—ペプチド
複合体による酵素機能の創出

P2-068 川戸翔太（近大院総合理工）

紅色光合成細菌の辺縁光捕集タンパク質の構造安定性の
解析

P3-084 梅村奈那（京大院工）

纖維形成能を有するコラーゲン模倣ペプチドの化学合成
研究

P3-088 松永来実人（名大院理）

中心金属と軸配位子の組み合わせの探索に基づく
P450BM3の反応性開拓

P4-060 高沢桃花（群大院理工）

人工セルロソームの構築と酵素の近接によるセルロース
分解の効率化

P4-070 小倉勘汰（阪大院工）

酵素応答性PET-RAFTによる重合誘起発光性L-フェニ
ルアラニンメタクリルアミドのがん細胞内重合

P5-078 信藤倫太（京大院工）

カルボキシ基を有する多糖を表面被覆剤として用いるリ
ン酸ガドリニウムナノ粒子MRI造影剤の合成と抗体修飾

P5-081 田島亘斐（中大院理工）

構造不安定な新規シクロプロパン含有ポリケチドikei-
amide類の単離と計算化学を用いた構造決定

P5-083 石倉実桜（京大院工）

タンパク質の化学的リン酸化反応の開発と構造タンパク
質を用いた応用展開

P5-084 今井玲（阪大院工）

自発的に加水分解するエステルを利用した細胞膜透過性
蛍光プローブの開発

P5-086 小川帆乃香（京工織大院工芸）

光応答性ステープルペプチドの論理的設計指針の確立と
PPI光制御への応用

P6-060 鈴木允人（群大院理工）

脂質-タンパク質非対称膜小胞膜上での異種タンパク質
の近接配置と酵素反応の効率化

P6-066 石橋広一朗（北里大院理）

生体分子吸着性を有するセルロース集合体界面の分子ダ
イナミクスと自由エネルギー解析

P7-056 横江隼人（名大院理）

ホスホチオエート/スルホニアミド末端DNAの分子間
交差活性化によるケミカルライゲーション法

P7-063 河本拓朗（阪大院工）

ペプチドリガンドを介した力学刺激によりT細胞活性化
を目指したアゾベンゼン含有ゲルの設計

P7-064 佐古杏純（名工大院工）

薬剤刺激により細胞から分泌されるK⁺イオンのセン
サー不織布を用いたリアルタイムモニタリング

P7-068 大原駿也（科学大物質理工）

がん細胞における糖鎖パターン認識機構解明

P7-077 犬飼沙和（科学大物質理工）

人工金属酵素を用いた生体内でのがん細胞と関連細胞外
微粒子の標識と機能改変

P9-057 揚原聖智（東大院工）

DNA-encoding技術を用いた環状ペプチドライブラリー
の膜透過性評価

P9-062 原駿太（中大院理工）

鳩間島産未記載種海洋シアノバクテリア由来新規ジテル
ペン化合物tachibarol類の単離および構造決定

P9-065 岩倉里菜（筑波大院理工情報生命）

クレソンからの破骨細胞分化阻害物質の探索

P9-068 山路悠馬（中大院理工）

竹富島産海洋シアノバクテリア由来新規カテプシンD阻
害剤の単離と構造決定および構造活性相関研究

P9-074 劉天逸（名大院理）

活性化RNA基質を用いた環状RNA合成法の最適化

【高分子化学】

P1-076 高橋海采（科学大化生研）

光重合誘起物質移動による液晶性ブロック共重合体のナ
ノ構造配向制御

P1-079 山本里夏（慶大院理工）

リチウムイオン二次電池有機正極活物質のためのキノン
誘導体高分子の探索

P1-085 佐々木康貴（東北大院理）

光触媒的CO₂還元反応に向けた新規二次元共有結合性
有機構造体の設計

P1-089 勝野有香（お茶大院人間文化）

側鎖にペルフルオロアルキル基を有する新規ポリスルホ
ンの合成と物性

P1-091 柴崎隼（早大院先進理工）

アントラセン-ナフトキノン付加体に基づく可逆架橋
ネットワークの設計とレオロジー評価

P2-075 鈴木晴陽（東大院工）

MOF ナノ細孔への浸入を利用した汎用性高分子の分離

P2-079 石川裕己（名大院工）

シリルラジカルを重合反応に組み込んだラジカル重合の開発

P4-079 徳満玲伊（科学大物質理工）

シラトラン骨格を有する高分子の合成とその特異的水硬性

P4-092 戸崎祐吾（早大院先進理工）

ポリ（フェニレンスルフィド）骨格を有する両親媒性ブロック共重合体の合成と接着特性

P4-094 山極空美（信大院総合理工）

グラフトポリマーを基盤とした結晶化誘起自己組織化による分子集合体の創製と形態制御

P6-080 大崎嘉月（高知大院総合）

低褪色性高輝度ナノ粒子を志向したイオン性褪色防止剤の開発

P6-083 橋口萌花（名大院工）

柔軟かつ強靭なシリカ粒子複合エラストマーの設計

P6-085 小野快時（筑波大院数理物質）

コバルト触媒による環化反応を利用した π 共役高分子の合成

P6-091 茶木梨花（科学大化生研）

多元素 3d サブナノ合金の精密合成と機能開拓

P7-080 上原綾太（科学大物質理工）

疎水性ブロック配置が制御するトリブロック共重合体薄膜のドメイン配向性

P7-088 中須賀武叶（九大院工）

ポリスチレン薄膜のガラス転移に及ぼす Si 基板の表面粗さの効果

P7-090 斎藤康平（慶大院理工）

層状ポリジアセチレンへのポリシロキサンのインターフェーションによる弱い摩擦力の可視・定量化

P8-082 深山千遙（東理大院創域理工）

シクロデキストリンによる光塩基発生剤の水溶性化と水系光パターニング材料への応用

P8-083 鏡味湧哉（名大院工）

架橋密度の異なる生体適合性高分子から成る相互侵入網目構造が示す J 型伸長特性

P9-076 石神航平（早大院先進理工）

有機レドックスフロー電池の活物質に適用するポリマーナノ粒子の表面特性制御

P9-079 江里口耀一郎（科学大物質理工）

ポリメタクリル酸エステル誘導体のホスホニル化反応における光レドックス触媒の検討

P9-089 渡邊智貴（名大院工）

主鎖の炭素-水素結合からのアニオン種の生成に基づくビニルポリマーの分解

P9-092 近藤誉也（東大院工）

ルイス酸触媒による C-O および C-N 結合開裂に基づくアミン硬化ポキシ樹脂からの有機分子の選択的回収

[材料化学]

P1-096 三上喬弘（東大院工）

液晶性バイオミネラルナノファイバーの開発と機能化

P1-099 菅井蒼大（芝浦工大工）

異種金属カチオン添加がマグネシウム電析挙動に与える影響の評価

P1-105 野中慧悟（科学大物質理工）

ダブルネットワークゲルを用いた力による円偏光発光の制御

P1-113 尾形颯紀（早大院先進理工）

ドーパントフリーな正孔輸送性ポリマーの π コアユニットの分子設計と全無機ペロブスカイト太陽電池への適用

P2-096 後藤祐貴（科学大物質理工）

拡散律速環境下におけるバイポーラ電解法を用いた PEDOT マイクロファイバーの作製

P2-101 谷口広至（科学大物質理工）

Li イオン電池用プレリチウム化アモルファス Si 薄膜の合成と充放電特性評価

P2-110 岡田育真（龍大院理工）

超高屈折率 1.83 を示すカルド型炭化水素核の新開発

P3-102 矢野圭悟（高知工大院工）

DA 型 π 共役系分子の設計による二次元弾性分子結晶の開発と結晶/ポリマー複合材料へ

P3-106 中山智仁（静大院工）

コレステロール含有リポソームにおけるアップコンバージョンの評価

P3-107 中林真宏（高知工大院工）

ピリジル導入による発光性分子結晶の構造制御と自然放出増幅発光を目指した耐熱性の向上

P3-115 橋野優人（高知工大院工）

Rotatability-induced polymorphic luminogen：理論構築による多形化技術の確立

P4-095 今村麻保（慶大院理工）

グラフェン量子ドット蛍光体の液相合成におけるグリコール合成溶媒の最適設計

P4-098 斎藤日菜（北里大院未来工）

ネマチック液晶の電場応答挙動に関する分子動力学的解析

P4-100 中林杏実（慶大院理工）

ホットインジェクション法によるコア/シェル型 InP/ZnS 量子ドット蛍光体の合成とその光学特性

P4-101 青木俊樹（東理大院理）

ポリグルタミン酸を用いた無色の自己修復材料

P4-102 比嘉健人（科学大化生研）

光二量化条件の検討によるアントラセン含有分子層中の化学結合制御が剥離挙動に与える効果

P4-105 敦井晴香（お茶大院人間文化）

アミドアミン型界面活性剤のゲル形成能向上に向けた有機酸の添加

P5-096 丸山蒼生（慶大院理工）

広帯域励起・狭帯域蛍光を有するカーボンドットの 1 段階液相合成

P5-102 平野孔基（富山大院理工）

四重極子プラズモン共鳴を示すプラズモニック光カソードの光電気化学特性

P5-107 浅川竣風（横国大院理工）

硫黄酸化ビスベンゾチエニルエテン類のフォトクロミック特性の温度依存性

P6-100 佐藤颯飛（青学大院理工）

光応答性キラルドーパントを用いたキラルネマチック液晶の高速らせん制御

P6-110 佐藤虎太郎（東理大院理）

ホスフィン保護白金 17 量体ナノクラスターの高収率合成法の確立とメラミン修飾による高活性な酸素還元反応触媒の創製

P6-113 的場涼介（阪大院工）

六方晶共有結合性有機固溶体の形成にモノマーの平面性が与える影響

P6-114 飯塚琢朗（山形大院理工）

双性イオン型配位子の結合間距離制御によるペロブスカイトナノ結晶の耐光性向上とそのメカニズムの解明

P7-098 黒田拓海（科学大物質理工）

ボールミル処理による高アスペクト比かつ大面積な窒化ホウ素ナノシートの調製

P7-101 吉田風花（慶大院理工）

酸化グラフェンへのドーパミンの複合と高分子化によるリチウムイオン二次電池正極活物質への応用

P7-111 崎向真人（東農工大院工）

新規銅デラフォサイト型超構造ハニカム格子磁性体のトルペケミカル合成

P8-096 長谷川誠也（慶大院理工）

リュウキュウアオイ貝殻の構造及び機能の解析

P8-103 小西章裕（金沢大院自然）

すべて有機材料で構成された薄膜太陽電池の高性能化を目指した有機薄膜電極の開発

P8-104 池田光希（京工織大院工芸）

機械学習による配向 CNT 自己組織化形成の条件推定

P8-114 木下裕貴（科学大物質理工）

固相合成法を用いた V_2O_3 薄膜の合成と電子物性評価

P9-110 内田悠月（東北大院理）

透明導電性アナターゼ型 Nb ドープ TiO_2 単結晶メンブレンのひび割れの抑制による高い電気伝導性の実現

「CSJ 化学フェスタ博士オーラル賞（博士課程学生オーラルセッション）」（6名）

C2-04 高橋 輝（千葉大院融合理工）

二値記録液晶メモリの創出に向けた二重螺旋構造を有する強誘電性カラムナー液晶材料

C2-11 引地真彩（群大院理工）

二次元および三次元的に培養したマイクロ肝臓モデルの過冷却冷蔵保存

C2-12 高橋海采（科学大化生研）

光重合誘起物質移動による液晶性ブロック共重合体のナノ構造配向制御

C2-14 鈴木晴陽（東大院工）

MOF ナノ細孔への浸入を利用した汎用性高分子の分離

C2-28 三上喬弘（東大院工）

液晶性バイオミネラルナノファイバーの開発と機能化

C2-29 木村汰勢（山形大院理工）

ナノ結晶工学に基づく配位子デザインによるペロブスカイトナノ結晶の包括的不働態化

2026 年分個人会員会費等払い込みのお願い

会長 丸岡 啓二

2026 年度の会費等は、マイページにてお支払いいただけます。ご確認の上、お手続きをお願いいたします。

■会費のお支払い時期およびご案内

2025 年 12 月 20 日よりお支払い可能。E-mail およびホームページ、マイページ内にてご案内。

■会費のお支払い方法

クレジットカードおよび口座引落の自動決済をご希望の場合は、2025 年 12 月 31 日までにマイページにてご希望のお支払い方法をご選択下さい。

- ・ クレジットカード決済^{*1}
- ・ 口座引落^{*1}
- ・ コンビニ決済
- ・ Pay-easy（ペイジー）^{*2}
- ・ 複数名まとめての銀行支払い（バーチャル口座利用）^{*3}

^{*1} クレジットカード決済および口座引落は自動引落となります。2026 年 1 月 1 日時点で請求データをシステムにて自動で外部送信いたします。外部送信後は請求データの取り消しが行えませんので、あらかじめご了承下さい。クレジットカードの決済は 1 月 1 日、口座引き落としの引落日は 1 月 27 日となります。

^{*2} ネットバンキングおよび ATM でのお支払いが可能です。ゆうちょ銀行の ATM もご利用いただけます。

^{*3} 大学や企業などで複数名の会費を一括でバーチャル口座にお振込みいただくことが可能になりました。

ご利用方法：①マイページにて会費のお支払い方法に、「コンビニ決済」を選択する。②経理担当者に振込依頼

をする際に、会員番号、氏名、請求額および日化会員担当に、バーチャル口座を利用することと振込予定日をメールして欲しい旨ご連絡いただけ。③経理担当者は日化会員担当に 1) バーチャル口座を利用すること、2) 利用する会員全員の会員番号・氏名・請求額・振込予定日をまとめてメールでご連絡下さい。④経理担当者よりご連絡を受けた後、日化会員担当より、ご利用に必要な情報をメールにて経理担当者にお送りいたします。バーチャル口座は仕様上、作成後 1 カ月で自動削除されますので、振込予定日を勘案して日化会員担当にて作成いたします。

2026 年分会費一覧 個人会費（個人正会員・学生会員・中高生会員・教育会員）【不課税】

会員種別と会誌名	入会金（円）	年額（円）	
		国内	国外
個人正会員（配布会誌：月刊・化学と工業）	1,000	12,000	12,300
同上割引：60 歳以上で定職に就いていない方（通称：シニア会員）	1,000	7,500	12,300
学生会員（配布会誌：月刊・化学と工業）	不要	6,000	7,200
学生会員（配布会誌：月刊・化学と教育選択通称：教育学生会員）	不要	4,800	7,200
同上割引：学部 3 年以下の方（専攻科 1 年以下の高専生を含む）配布会誌：月刊・化学と工業または化学と教育を選択（通称：ジュニア会員）	不要	3,000	7,200
中高生会員（配布会誌なし）	不要	1,000	—
中高生会員（配布会誌：月刊・化学と工業または化学と教育を選択）	不要	3,000	—
教育会員（配布会誌：月刊・化学と教育）	不要	9,000	8,400

※個人会員（個人正会員、学生会員、中高生会員、教育会員）の方の会誌追加費は以下のとおりです。

会員種別と会誌名	年額（円）	
	国内（内税 10%）	国外（不課税）
化学と教育（教育会員会誌・月刊・個人正会員、学生会員が追加する場合）	5,400	6,000

法人正会員会費【不課税】

法人正会員の年間会費は、1 口 25,000 円で 4 口（100,000 円）以上となっております。

法人正会員には、会誌を無償配布する、年会等行事へ参加する法人正会員所属の個人が本会非会員でも個人正会員参加費と同額にする、という特典があります。冊数、人数は会費口数により異なります。4 口ですと論文誌 BCSJ または CL のどちらか一方を、5 口以上ですと BCSJ と CL の両誌のウェブ版を無料で購読することができます。10 口より本会のニュアルレポートに掲載いたします。詳細は下記にお問い合わせ下さい。

公共会員会費【不課税】

公共会員（学校、公共図書館、公共研究機関）の年間会費は、配布を受ける会誌により異なり、次のとおりとなっております。複数の会誌の配布を受ける場合はそれらの合計が年間会費となります。

冊子体（化学と工業は毎月 1 日に、化学と教育は毎月 20 日に発行）

化学と工業（個人正会員・学生会員用の会誌） 24,000 円

化学と教育（教育会員用の会誌） 9,000 円

部会費【不課税】

部会員種別	部会費（年額 円）				
	コロイドおよび 界面化学部会	ケモインフォマ ティクス部会	生体機能関連 化学部会	バイオテクノ ロジー部会	有機結晶部会
正部会員	日本化学会会員	4,200	2,000	3,000	2,000
	日本化学会非会員	5,400	3,000	4,000	4,000
学生部会員	日本化学会会員	1,500	1,000	1,000	1,000
	日本化学会非会員	1,500	1,000	1,000	2,000
法人部会員（1 口）	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000

1. 会費、部会費は、会員規程等により前納となっております。
2. 既納の会費、部会費は、会員規程等により返還できることになっております。
3. 学生（部）会員は高専本科4年以上、短大、大学、大学院、専門学校の在学者に限ります。研究生は正（部）会員となります。
4. 中高生会員は、中・高・高専本科1年～3年、これらに準ずる学校に在籍する者に限ります。入会の際に在学を証明する書類（学生証など）の提出が必要です。
5. 教育会員が「化学と工業」の配布を受けたい場合は、個人正会員に会員種別を変更し、会誌として「化学と工業」の配付を受け、「化学と教育」を追加することになります。
6. 58歳以上で国内在住の個人正会員の方を対象とした会費一括納入制度の申請は、会員GへE-mailで連絡して下さい。
7. シニア会員割引の申請は、その旨を会員GへE-mailで連絡して下さい。
8. 学生会員、教育学生会員、ジュニア会員は在学を証明する書類（学生証など）の提出が必要です（個人会員の紹介があれば不要）。
9. 国外は船便送本の金額です。航空便利用の場合は下記にお問い合わせ下さい。
10. 個人会員の入会申込は日本化学会ホームページ（https://chemistry.shikuminet.jp/members/pre/?user_type=1）から行って下さい。
11. 日本化学会には入会せずに部会のみ入会される場合も、（https://chemistry.shikuminet.jp/members/pre/?user_type=1）から行って下さい。
12. 日本化学会会員が新たに部会に入会する場合は、マイページ内にあるメニューより、追加部会の申込をお願いします。
13. 法人正会員、公共会員、法人部会員の入会申込書は下記にご請求下さい。

お問い合わせ先については、下記にて承ります。

問合先 101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 公益社団法人日本化学会 総務部会員G
電話(03)3292-6169 ※ご用件をAIにて承ります。E-mail: member-support@chemistry.or.jp

本部事務局・化学情報センター、年始等のお知らせ

事務局長

本部事務局・化学情報センターの年始の業務は1月5日(月)からとなります。
また、1月19日(月)は本会創立記念日のため、休業させていただきます。

会員委員会からのお知らせ

[日本化学会への入会勧誘のお願い]

日本化学会の会員数は残念ながら減少が続いております。力強い化学会を目指すために、なにより会員増強が大きな意味を持つと考えております。

2016年6月16日から中高生会員制度を開始しました。身近な方で入会されていない方がおられましたら、積極的に入会をお勧め下さい。会員の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。これまで新入会員の情報を紙面に掲載しておりましたが、今後は当会のホームページに掲載方法を変更させていただきます。詳細につきましては、ホームページにてご案内いたしますので、ご確認いただけますようお願い申し上げます。

[会員訃報のお知らせ：2025/9/16-2025/10/15]

6名の方の訃報に接しました。本会はここに謹んで哀悼の意を表すとともにご冥福をお祈りいたします。
太田 道也 小澤 幸三 高田 寛治 内藤 吉雄 森本 和久 呂 壽東

化学だいすきクラブ事業醸金者ご芳名 (令和7年10月16日～11月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

○20,000円 北原 武夫
○5,000円 佐久間勝城
○3,000円まで 荘司 隆一

「化学振興」活動醸金者ご芳名 (令和7年10月16日～11月15日)

ご芳志を賜りました下記の方々に対し、厚くお礼申し上げます。

- 10,000円 根木 茂人 北原 武夫
○3,000円まで 井口 一成

「化学と教育」誌 目次紹介と購読方法

化教誌編集委員会

1. 目次紹介（第74巻第1号）

ヘッドライン：高校の実験室でできる化学研究のテーマの
立て方

その他に、【実験の広場】、【新・講座】など。

※内容は変更になる場合があります。

2. 購読方法

〔個人〕

1) 日本化学会会員の方で、「化学と教育」誌を追加購読ご希望の場合は5,400円（年額）をお支払いいただくことでご購読いただけます。追加購読をご希望の場合には【お問合せフォーム】からお申込み下さい。

【お問合せフォーム】

<https://form.csj.jp/view.php?id=158655>

フォーム入力方法（ご参考）

- ①【お問い合わせ内容の種類 - Subjects】：「全般について」を選択
②【お問い合わせ内容詳細（全般） - Sub-subjects】：

「【会誌】会誌の追加購読申込」を選択

- ③【追加購読誌 - Journal Subscriptions】：「化学と教育」をチェック
＊以降は必須事項をご入力下さい。

- 2) 化学または化学工業に関係のある学校教育に従事する方で購読希望の方は、教育会員（年間会費7,200円）として入会されますと化学と教育誌の無料配布が受けられます。また教育学生会員の方は年間会費が4,800円です。入会申込は、当会ウェブサイトの「日本化学会への入会案内」(<https://www.chemistry.or.jp/application/admission/index.html>) から行って下さい。

〔団体〕

学校、図書館、官公庁等、団体として購読することもできます。公共会員（年間9,000円）に入会されますと無料配布が受けられます。入会申込書は下記宛にご請求下さい。
請求先：101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

日本化学会総務部会員 G

電話(03)3292-6169 ※AIにてご用件を承ります。
E-mail: member-support@chemistry.or.jp